

検討委員会の審議内容を反映した候補地選定条件

以下の基本方針に基づき選定条件を検討する。

1. 旧市町界を考慮したバランス抽出
 2. 現有施設の実績に基づく山間立地のオープン型最終処分場
 3. 宮城県産業廃棄物最終処分場の立地環境規制に準拠
 4. 候補地周辺の生活環境に配慮
- ※ 1. に関しては旧牡鹿町地区は、国定、国立公園地区がほとんどであることから、候補地を選定することは難しい。

選定条件の詳細

1. 生活環境

- 1-1 生活圏（集落）への近接度
- 1-2 周辺民家との距離
- 1-3 周辺の学校・病院等との距離
- 1-4 同行政区（地区）における周辺公共施設の存在
- 1-5 1.0km 圏内の民間産業廃棄物処理施設等の存在
- 1-6 上水道水源（表流水）の有無

2. 自然環境

- 2-1 下流河川類型
- 2-2 国立・国定公園の近接度
- 2-3 鳥獣保護区域の近接度
- 2-4 災害防止関連規制法の近接度

3. 災害防止

- 3-1 造成による災害危険性
- 3-2 雨水流域の面積

4. 地形、地質

- 4-1 地形による造成の難易度
- 4-2 河川(沢)による造成の難易度

5. 設備関連

- 5-1 搬入道路の有無
- 5-2 水道、電気等の供給設備の有無
- 5-3 幹線道路からの離隔

6. 維持管理

- 6-1 運搬距離

※これらの条件を点数化し、候補地を選定する。